

安心・つながりプロジェクトチーム とりまとめ構成案

令和 7 年 7 月 2 日
安心・つながりプロジェクトチーム

1 はじめに

2 本プロジェクトチームの現状認識

- (1) 将来の単身世帯・単身高齢世帯数の増加
- (2) 孤独・孤立のリスクを抱える者の増加
- (3) 対策の必要性
 - ① 身寄りのない高齢者等への支援
 - ② 長期的視点に立った孤独・孤立の予防

3 本プロジェクトチームにおける議論について

- (1) 議論の射程について
- (2) P Tにおいて深く議論すべき論点
(長期的視点に立った孤独・孤立の予防対策)
 - ① 多世代交流の視点も含めた多様な居場所づくりの促進・担い手の確保に向けた取組の在り方について（支援する・される側という関係を超えた包摂的なつながりづくりについて）
 - ② 受援力を高めるための個々人の意識醸成の在り方及び支援につなげることが難しい方（声を上げづらい方等）に支援を届けるための取組の在り方について
 - ③ 各主体（行政、N P O等や民間企業）の役割

4 長期的視点に立った孤独・孤立の予防対策について

- (1) 多様な居場所づくりの促進・担い手の確保の在り方について
 - ア 居場所づくりの観点
 - ① 主な意見
 - ② 対応の方向性
 - イ 担い手確保の観点
 - ① 主な意見
 - ② 対応の方向性
 - ウ つながりづくりの観点
 - ① 主な意見
 - ② 対応の方向性
- (2) 受援力を高めるための個々人の意識醸成の在り方及び支援につなげることが難しい方（声を上げづらい方等）への支援の在り方について

- ア 主な意見
- イ 対応の方向性
- (3) 各主体の役割
 - ア 行政の果たすべき役割
 - イ NPO等に期待する役割
 - ウ 民間企業に期待する役割

5 身寄りのない高齢者等への支援について

6 まとめ